令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　297

事務事業名称		追悼式典事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　総務部		課：　総務管理課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	13.平和の大切さを後世に伝えるまち				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定（継続実施含む）						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	バリアフリーの会場での開催等、高齢者の方も参列しやすい会場での開催を行い、戦争で亡くなられた方々等を悼しむこと。						
	対象者（受益者）	戦争で亡くなられた方々及び本市のために殉職された方々の遺族、追悼式典に参列される市民等。						
	現状・課題	遺族の高齢化により、参列者数が減少傾向である。						
	事業の概要	戦争で亡くなられた方々及び本市のために殉職された方々の霊を敬うため、追悼式という名称で式典を開催する事業である。						
	年間の主な事務	・招待状の発送。（9月） ・追悼式の開催。（10月）						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.99人	1.01人	—	—
	再任用	0.01人	0.01人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	7,664	8,344	—	—		
	会計年度任用職員	0	0	—	—		
	特別職非常勤	0	0	—	—		
	附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	7,664	8,344	—	—		
	物件費計	955	912	—	—	1,159	78.7%
歳出計		8,619	9,256	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
	府支出金	0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
	市債	0	0	—	—	0	
	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		955	912	—	—	1,159	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 招待状の発送	人	132 人	129 人	― 人	― 人
② 高齢者の方も参列しやすい会場での追悼式典の開催	回	1 回	1 回	― 回	― 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 遺族の方や参列希望者が参加できる。

指標: 参加人数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	150	150	150	150	人
実績	133	127	―	―	人
算出方法	―				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 戦争で亡くなられた方々等を悼しむことができている。

指標: 招待した方の出席率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	60	60	60	60	%
実績	69.7	76	―	―	%
算出方法	実際に参列した人数／追悼式に招待した方の人数×100				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

会場や開催方法の変更も検討しつつ開催を続け、遺族の方や参列希望者が戦争で亡くなられた方々等を悼しむことができる場を提供する。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	令和6年度枚方市追悼式は、10月10日に枚方市総合文化芸術センター別館　誠信建設工業メセナホールで開催し参列者は133人であった。
R7年度	令和7年度枚方市追悼式は、10月9日に枚方市総合文化芸術センター別館　誠信建設工業メセナホールで開催し参列者は127人であった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	一般市民および関係団体へ参列の働きかけを行うとともに、参加しやすい追悼式の実施に向け検討する。 また、会場設営の委託化及び参加者全員が献花できるように検討する。	R8年度方向性	見直し

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	見直し	―	―

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　487

事務事業名称		栄典・表彰等事務						
担当部署（R8年度機構）		部：　総務部		課：　総務管理課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定（継続実施含む）		
	根拠法令等	枚方市名誉市民条例、枚方市有功者表彰条例、市制施行記念式典表彰に関する要綱、スポーツ及び文化等の褒賞に関する要綱、枚方市後援等に関する要綱						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質：　—		
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	【栄典・表彰事務】 庁内各課において選考された叙勲・褒章・表彰等に該当する候補者が表彰され、受賞を励みとして更なる活躍をされることにより、市政の振興に寄与される状態。 【市の後援事務】 市の施策の推進に寄与すると認められる事業等を後援することにより、公共の福祉及び文化、体育、郷土芸能等の振興に寄与する。						
	対象者（受益者）	【栄典・表彰事務】 庁内各課において選考された叙勲・褒章・表彰等に該当する候補者。 【市の後援事務】 市に後援申請を行う事業者・団体等。						
	現状・課題	【栄典・表彰事務】 候補者の人数に対して、上申できる人数が限られている場合がある。 【市の後援事務】 後援により市の施策の推進に寄与するかどうかの判断が困難。						
	事業の概要	【栄典・表彰事務】 庁内各課において選考された知事表彰・叙勲・褒章等に該当する候補者を府・国に対し上申する。 【市の後援事務】 市の施策の推進に寄与すると認められる事業の後援名義申請の承認等を行う。						
	年間の主な事務	【栄典・表彰事務】 ・上申等を行う際、庁内各課から提出された推薦書類を整備する。 ・必要に応じ、上申に必要な戸籍抄本などの各種書類を、他課または他市へ請求する。 ・（周年式典の場合）関係課に照会の上、表彰委員会にて候補者の審査・選定等を行う。 【市の後援事務】 ・事業者、団体等からの申請を受け、書類に不備等がないかを審査した上で、相手方に対し後援名義の承認を行う。						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.63人	0.76人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.10人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額			（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	4,843	6,239	—	—		
			会計年度任用職員	0	438	—	—		
			特別職非常勤	0	0	—	—		
			附属機関委員	0	0	—	—		
		人件費計		4,843	6,677	—	—		
		物件費計		753	583	—	—	442	131.9%
	歳出計			5,596	7,260	—	—		
	歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
		府支出金		0	0	—	—	0	
		受益者負担（使用料・手数料）		0	0	—	—	0	
		市債		0	0	—	—	0	
		その他		0	0	—	—	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）			0	0	—	—	0	
	一般財源（物件費充当分のみ）			753	583	—	—	442	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

	年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①	【栄典・表彰事務】 叙勲・褒章・表彰等に該当する候補者を上申する。 （叙勲・紺綬褒章・憲法記念日知事表彰）	件	6 件	4 件	— 件	— 件
②	【栄典・表彰事務】 表彰に該当する候補者を決定する。 （名誉市民・有功者表彰・市民スポーツ賞・市民文化賞）	件	19 件	10 件	— 件	— 件
③	【栄典・表彰事務】 表彰に該当する候補者を決定する。 （市制施行記念式典表彰）	件	— 件	— 件	— 件	— 件
④	【市の後援事務】 市の施策の推進に寄与すると認められる事業の後援名義申請の承認を行う。	件	163 件	180 件	— 件	— 件

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①							
説明	—						
指標	—						
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					—
	実績					—
	算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①							
説明	—						
指標	—						
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					—
	実績					—
	算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	褒賞については、高齢者叙勲1名、紺綬褒章2件、憲法記念日知事表彰2名、市民スポーツ賞17件、市民文化賞1件の表彰を行った。 各種団体等からのイベント等に対する後援等名義は163件、市長賞は24件の申請を受け付けた。
R7年度	褒賞については、憲法記念日知事表彰3名、死亡叙勲1名を上申し、市民スポーツ賞8件、市民文化賞2件の表彰を行った。 各種団体等からのイベント等に対する後援等名義は180件、市長賞は27件の申請を受け付けた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	栄典事務の方法・手続きについては事務根拠となる法令等で定められているので、現状のまま継続していく。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考	方向性の経過				
	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　684

事務事業名称		各種統計調査事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　総務部		課:　総務管理課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます				性質	企画調査・政策立案	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定(継続実施含む)		
	根拠法令等	統計法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:　—		
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	回収した調査票から得られた統計調査結果が市ホームページや統計書に分かりやすく掲載されている状態。						
	対象者(受益者)	統計情報を求めている人。						
	現状・課題	最新の統計資料を得ることができない。 国のホームページ上で必要な統計情報が見つけにくい。						
	事業の概要	・基幹統計調査(統計法に基づく法定受託事務)を実施。 ・統計書の編集発行。 ・統計調査員の確保。						
	年間の主な事務	・基幹統計調査に従事する調査員の募集。 ・　〃　調査員説明会の実施。 ・　〃　調査員へ報酬の支払。 ・統計書の編集、発行。						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.00人	6.15人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.82人	2.61人	—	—
特別職非常勤	27.75人	140.64人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	15,376	50,485	—	—		
		会計年度任用職員	2,395	8,469	—	—		
		特別職非常勤	3,799	156,975	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		21,570	215,929	—	—		
	物件費計		731	25,593	—	—	38,379	66.7%
歳出計			22,301	241,522	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		605	25,905	—	—	30,772	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	5	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			605	25,905	—	—	30,777	
一般財源(物件費充当分のみ)			126	0	—	—	7,602	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 統計法に基づく基幹統計調査	調査	2 調査	2 調査	— 調査	— 調査

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①							
説明	—						
指標	—						
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					—
	実績					—
	算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①						
説明	—					
指標	—					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					—
	実績					—
	算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	最新の調査結果をホームページ等で公表することができた。 調査の実施(全国家計構造調査・農林業センサス)については、円滑に遂行することができた。
R7年度	最新の調査結果をホームページ等で公表することができた。 調査の実施(国勢調査・学校基本調査)については、円滑に遂行することができた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	基幹統計調査は統計法に基づく法定受託事務であり、現状のまま継続する。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　763

事務事業名称		総務管理事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　総務部		課:　総務管理課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定(継続実施含む)		
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:　—		
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	事務機器等を適正に配置し、庁内組織の事務・事業が適正かつ効率的に執行できる環境が整っている状態。						
	対象者(受益者)	職員						
	現状・課題	事務機器等の入替や効率的な運用・配置が行われている必要がある。						
	事業の概要	・庁内で使用される共用物品の購入。 ・事務機器管理事務。(委託・リース契約等) ・総務管理事務。(浄書事務・郵便事務)						
	年間の主な事務	・共用物品の購入。 ・事務機器の管理。 ・浄書に関する事務。 ・郵便に関する事務。						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.49人	2.16人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.20人	0.30人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	19,143	17,731	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	807	1,313	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	19,950	19,044	—	—		
歳出 物件費計	33,067	37,172	—	—	43,425	85.6%
歳出計	53,017	56,216	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	645	533	—	—	603	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	645	533	—	—	603	
一般財源(物件費充当分のみ)	32,422	36,639	—	—	42,822	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 事務機器の保守契約(リースを含む)を行う	台	17 台	17 台	— 台	— 台
② 浄書の依頼	回	13 回	10 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	庁舎内の共用物品の購入や事務機器等を適正に管理し、庁内組織の事務・事業が適正かつ効率的に執行することができた。
R7年度	庁舎内の共用物品の購入や事務機器等を適正に管理し、庁内組織の事務・事業が適正かつ効率的に執行することができた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	庁内での事務をより効率的に執行できるよう引き続き取り組む。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　804

事務事業名称		総務管理課車両管理事務						
担当部署（R8年度機構）		部：　総務部		課：　総務管理課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定（継続実施含む）		
	根拠法令等	枚方市安全運転管理者等設置規程、枚方市庁用自動車管理規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質：　—		
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	安全かつ円滑な車両の配置・運用が行われている状態。						
	対象者（受益者）	公用車を利用する職員。						
	現状・課題	・公用車が適正に配置されている必要がある。 ・公用車事故の防止及び安全運転意識の向上を図る必要がある。						
	事業の概要	公用車の管理及び整備。 車両予約システムにより、共用の公用車の円滑な利用を図る。 職員が安全運転や危機予測による事故防止に努める意識を持つため、各種研修会等を実施する。 公用車による事故の適正な措置や今後の対策を講ずるための自動車事故審査委員会、幹事会の開催。						
	年間の主な事務	・公用車及び公用バイクの管理。（各部・課で管理するものを除く） ・自動車事故審査委員会及び幹事会の開催。（例年5月、8月、11月、2月） ・安全運転講習会の実施。（例年7月、2月） ・バック誘導講習会の実施。（例年11月）						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.48人	1.63人	—	—
	再任用	1.99人	1.99人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.80人	0.80人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	14,291	23,928	—	—		
歳出 内訳	会計年度任用職員	2,916	3,344	—	—		
歳出 内訳	特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳	附属機関委員	0	0	—	—		
歳出	人件費計	17,207	27,272	—	—		
歳出	物件費計	29,201	28,006	—	—	29,866	93.8%
歳出計		46,408	55,278	—	—		
歳入	国庫支出金	272	0	—	—	0	
歳入	府支出金	0	0	—	—	0	
歳入	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入	市債	0	7,500	—	—	7,700	
歳入	その他	391	465	—	—	367	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		663	7,965	—	—	8,067	
一般財源（物件費充当分のみ）		28,538	20,041	—	—	21,799	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 適正な公用車の管理	台	39 台	36 台	— 台	— 台
② 安全運転や危機予測等の意識醸成を目的とした各種研修会等の実施	回	3 回	3 回	— 回	— 回
③ 職員が公務中に自動車事故を起こした場合について適正な措置を講ずるための審査会の開催	回	4 回	3 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	車両予約システムにより、公用車の円滑な利用を行った。 また、公用車事故防止対策の取り組みとして、年2回の安全運転講習会等を通じて安全運転に対する意識向上を図ることが出来た。
R7年度	車両予約システムにより、公用車の円滑な利用を行った。 また、公用車事故防止対策の取り組みとして、年2回の安全運転講習会等を通じて安全運転に対する意識向上を図ることが出来た。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	公用車事故防止及び安全運転意識の向上に向け、安全運転講習会等により職員の意識啓発に努める。 また、「公用車事故防止特別対策ガイドライン」令和元年9月改定版の周知徹底をはじめ、有効な事故防止対策を継続的に行う。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　805

事務事業名称		庁舎維持管理業務						
担当部署（R8年度機構）		部：　総務部		課：　総務管理課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	維持管理区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定（継続実施含む）		
	根拠法令等	枚方市庁舎管理規則、枚方市役所防火管理規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質：　—		
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	所管している庁舎の利用者が施設を安全かつ快適に利用できている状態。						
	対象者（受益者）	所管している庁舎への来庁者/所管している庁舎で勤務している職員。						
	現状・課題	所管している庁舎の利用者が安全に利用できるよう、施設保全や保守点検等が行われている必要がある。						
	事業の概要	1. 維持管理する庁舎概要 ①本庁舎（本館・別館）ー所在地：大垣内町2ー1ー20、建築年：本館 昭和35年、別館 昭和44年、延床面積：約17,649㎡、構造・階数：SRC6 ②分館ー所在地：大垣内町2ー9ー15、建築年：昭和63年、延床面積：約2,156㎡、構造・階数：S4 ③第2分館ー所在地：大垣内町2ー9ー21、建築年：昭和46年、延床面積：約907㎡、構造・階数：RC2 ④サプリ村野ー所在地：村野西町5ー1、建築年：昭和48年、延床面積：約3,247㎡、構造・階数：RC3 ⑤輝きプラザきららー所在地：車塚1ー1ー1、建築年：平成4年、延床面積：約3,758㎡、構造・階数：SRC8 ⑥分室（ひらかたサンプラザ1号館6階一部）ー所在地：岡東町12ー1、建築年：昭和50年、延床面積：約234㎡、構造・ 階数：SRC6 ⑦第3分館ー所在地：岡東町8ー33、建築年：会館 昭和38年、ホール 昭和45年、延床面積：約7,487㎡、構造・階数：RC4 ⑧駅前行政サービスフロア（ステーションヒル枚方内）ー所在地：枚方市岡東町19番1号、建築年：令和6年、延床面積：約74033. 3㎡、構造・階数：鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根29階建 ⑨サンプラザ3号館202号室・502号室・508号室ー所在地：岡東町12ー3、建築年：昭和50年、延床面積：約771㎡、構造・ 階数：RC5 ※1 構造：SRCー鉄骨鉄筋コンクリート造、RCー鉄筋コンクリート造、Sー鉄骨造 ※2 施設形態：④・⑤については庁舎と公の施設との複合施設、⑥・⑧については区分所有、⑨については管理のみ。所有は財産活用課 ※3 ⑨については、令和7年度中に売却により管理終了 2. 活動項目 ①庁舎施設管理（設備等保守管理、設備運転・監視、保安・警備、衛生管理、営繕業務等） ②付帯施設管理（来庁者用駐車場・自転車駐車場） ③管理サービス（庁舎受付、宿日直受付） 3. 活動内容 設備に係る各保守点検や警備、清掃など業務委託を活用する他、照明やトイレ設備など設備更新時において節電や節水機能を向上させるとともに使用電力の競争入札を実施するなど維持管理経費削減の取組みを進め、利用者にも満足いただけるような安全で快適な庁舎環境を来庁者、職員に提供する。						
	年間の主な事務	・庁舎及び付帯施設の管理に関する委託の契約。（他課・事業者との調整を含む） ・庁舎及び付帯施設の管理に関する修繕と工事。（他課・事業者との調整を含む） ・庁舎受付員、施設管理員の雇用及びシフトの作成。 ・電話設備の維持及び管理。						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	7.57人	7.07人	—	—
	再任用	0.40人	0.40人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	14.64人	15.15人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額			（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	60,329	60,158	—	—		
			会計年度任用職員	44,669	47,952	—	—		
			特別職非常勤	0	0	—	—		
			附属機関委員	0	0	—	—		
		人件費計		104,998	108,110	—	—		
		物件費計		699,290	476,516	—	—	561,352	84.9%
	歳出計			804,288	584,626	—	—		
	歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	（留意事項） ※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。
		府支出金		1,219	0	—	—	0	
		受益者負担（使用料・手数料）		0	0	—	—	0	
		市債		48,600	3,700	—	—	4,900	
		その他		129,154	4,182	—	—	3,358	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）			178,973	7,882	—	—	8,258	
	一般財源（物件費充当分のみ）			520,317	468,634	—	—	553,094	

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 庁舎及び付帯施設の維持管理に関する委託契約	件	57 件	62 件	— 件	— 件
② 庁舎及び付帯施設の維持管理に関する修繕及び工事	件	37 件	24 件	— 件	— 件

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明：所管している庁舎及び付帯施設の利用者が安全かつ快適に利用できている。

指標：庁舎及び付帯施設の維持管理に関する修繕を行った割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	100	100	—	—	%
算出方法	修繕を行った件数／修繕を必要とした件数×100				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：—

指標：—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

所管している庁舎及び付帯施設について、法定点検結果に基づく修繕対応など適切に実施し、安全に利用できるよう維持管理を行うことに加え、使いやすいオフィス環境を進め、来庁者や市職員が快適に利用できている。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	枚方市市有建築物保全計画に基づき、サプリ村野屋上防水改修工事を実施した。 その他、小規模修繕等を行い適切な維持管理に努めた。
R7年度	枚方市市有建築物保全計画に基づき、来庁者自転車駐車場電灯設備改修工事を実施した。 その他、小規模修繕等を行い適切な維持管理に努めた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	今後も来庁者、職員に安全かつ快適な庁舎環境を提供できるよう適切に維持管理を行う。 また、枚方市市有建築物保全計画に基づく維持保全工事等を実施する。 なお、維持保全工事や改修等においては、工事内容の精査や工事手法等の工夫を行い、経費の削減に取り組む。 本庁舎駐車場については、運営事業者と適宜協議等を行い、適切な運用に努める。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　929

事務事業名称		総務管理課運営事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　総務部		課:　総務管理課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2022(R4)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	課の運営を円滑に図り、組織としての機能を適正かつ効率的に発揮している状態。						
	対象者(受益者)	総務管理課の職員。						
	現状・課題	課の運営を円滑に図る必要がある。						
	事業の概要	・総務管理課運営庶務事務 ・行政財産目的外使用許可事務 ・自衛官募集に関する事務						
	年間の主な事務	・総務管理課運営庶務。 ・行政財産目的外使用の許可。 ・自衛官募集に関する住民情報の提供。						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.84人	0.72人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.20人	0.30人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	6,458	5,910	—	—		
		会計年度任用職員	807	1,313	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		7,265	7,223	—	—		
	物件費計		21	29	—	—	32	90.6%
歳出計			7,286	7,252	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			21	29	—	—	32	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 行政財産目的外使用の許可	件	322 件	302 件	— 件	— 件
② 自衛官募集に関する住民情報の提供	回	1 回	2 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	事務・事業が適正かつ効率的に執行することができた。
R7年度	事務・事業が適正かつ効率的に執行することができた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	より効率的に執行できるよう引き続き取り組む。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	—	—